



令和3年度川俣町立福田小学校学校だより

しらさぎ Kids NO. 21

令和3年9月17日

文責:校長 神尾孝弘

秋の訪れ 子どもたちは元気いっぱいです



空を見上げると刷毛で掃いたような秋の雲が顔を出しています。校舎の裏山の木々も少しずつ色づき、あちこちから秋の訪れが感じられるようになってきました。

校舎のまわりからは、いい香りが漂っています。キンモクセイの香りです。休み時間、外に出た子どもたちは、「うわあ、いい香りだね」と大喜びです。こうして、季節の移ろいを感じられる福田小学校は、素敵な学校だと思います。

キンモクセイの香りの中で、今日も子どもたちは毎日元気いっぱい

い、笑顔いっぱいで学校生活を送っています。「よく学び、よく遊び、よく動き、よく食べ、よく笑う」です。コロナ禍の影響が続く中、子どもたちの元気や笑顔が何より尊いものであることを改めて感じています。学校に子どもたちの歓声が響き渡っている毎日に感謝したいと思います。



【宇宙ミッションの横断幕を飯舘村へ】

9月13日(月曜日)。先月、宇宙から戻ってきた東北復興宇宙ミッションの横断幕を、飯舘村に引き継ぎました。6年生の代表児童が「いいたて希望の里学園」を訪問し、被災地のメッセージの詰まった横断幕を届けました。いいたて希望の里学園の児童と一緒に、復興への思いや感謝の心、未来への希望や夢を共有しました。また、両校の児童が、川俣町と飯舘村のよさを伝え合い、互いの友好を深めました。

今月29日には、飯舘村のグラウンドで、陸上競技大会が行われます。子どもたちは、陸上の話をしながら、「お互いに頑張ろう」と互いの健闘を誓い合っていました。福島復興を担う子どもたちの笑顔がまぶしく輝いていました。

